

2013.10.23

## よ び か け

ラブリーアースJapan  
相生山の四季を歩く会  
事務局 古川善嗣  
TEL/FAX 052-821-6463

私たちがいつも親しんでいる相生山緑地を、南北に分断する道路の建設再開に向けた動きが、いよいよ活発になっています。

10月16日、河村たかし名古屋市長に、10月13日の「相生山の四季を歩く会」で記入いただいた、みなさんの意見をもとにした「要望書」を提出しました。  
みなさんからの意見(名古屋市民分)を、ほとんど原文のまま添付しました。  
それらのコピーを同封します。

本来は前もってお伝えしなければならないところ、状況がせっぱつまっており、またご報告が遅くなりましたことを合わせてお許し下さい。  
(パソコンのメールやFax送受信が可能な方には、送らせていただきました。)

提出のようすとそのあとの記者会見の内容が、当日夕方の東海テレビ、翌朝の中日新聞・毎日新聞の市民版・地方版にて報道されました。マスコミや世論の関心が集まり始めているのが推察されます。

「相生山の四季を歩く会」では10月の資料として、この道路の経緯と10月8日の新聞記事を配布しました。それ以降の記事を同封します。わたしたちのことが載った17日の記事もあります。  
さらに23日には相生山の道路について最も古くから取り組んできた「相生山の自然を守る会」も要望書を提出、その報道もされています。これもあります。

「地元4学区の住民の判断に任せる」との市長方針には納得しがたいものがあります。再考を促し、全ての市民の意向に根ざし、その将来に責任を持つべき立場の政治家である市長自身が判断すべきとの主張は、記者会見でも大多数の記者をうなずかせるものでした。たずさわっている市の職員のみなさんも同様だと感じています。

相生山にもっとも親しんできた私たちには、たくさん名古屋市民に相生山の大切さを伝えることが出来ます。一緒に考えようと、よびかけることができます。  
工事が再開され、残さなければならない自然が壊されていく前に、出来る限りの努力を試みませんか。

いろいろ考えてみましたが、ひとつの手段として、新聞への投稿があります。すでに数人の方がFaxで送られたと聞きました。  
表現や記述が不十分でも、誠意は伝わることを確信して、  
掲載がなくても、マスコミにわたしたち市民の意思は伝わります。

ご検討下さい。

以上

# 相生山緑地の市道

## どうなる工事再開

### 住民投票など 来年1月までに結論 河村市長意向

天白区の相生山緑地を横断する形で計画されている市道、弥富相生山線。二〇一〇年一月の工事中断からほぼ四年を経て、工事再開の可否を決める判断が間もなくなされる。賛否両論がある中、河村たかし市長は地元四学区を対象に市民投票などによる意向調査を実施する考え。その結果を受け、来年一月末までに結論を出す。(中村慎一郎)



立ち入り禁止の看板が立つ相生山緑地。天白区で

緑地の西側には、立分、柵の向こうには、ちり入り禁止の看板が掲げられ、柵の向こうには、ちり入り禁止の看板がある。着工の遅れや、周辺に工した道路の西端部は木が生い茂る。

#### 市道弥富相生山線建設の経緯

2004年3月 着工  
10年1月 河村たかし市長の「ストップ・アンド・シンク」で工事中断  
11年1月 市長が工事再開か否かの判断について「投票もありかな」と発言  
13年4月 市長が「地元4学区の住民投票を決めたい」と掲げて3選挙区に入会  
10月 市長が市議会議決を経て、来年年度予算の編成までに結論を出すと言明

弥富相生山線は、近くの野並交差点などの渋滞緩和や、生活道路への車両流入防止を目的に、〇四年三月に着工。これまで総事業費三十六億円のうち二十九億円を投入、全長八百九十二メートルのうち八割の工事が終わった。ところが、〇九年四月、北側の道を走っていると、住宅が立ち並び車両の流入が問題になっている地帯。距離は一・六キロ、時間は十分。道路が開通すれば住宅地に入る車は減りそうだが、市長の言うように、通行規制をすれば対処できない。

#### 市民全体が納得を

##### 自然を守る会 市長に要望

市民グループ「相生山の自然を守る会」(近藤国夫代表)は二、十三日、河村たかし市長が計画する地元四学区を対象とした住民投票やアンケートについて、市民全体が納得できる形で実施するよう求める要望書を市長宛に提出した。

無駄になるのは許せない。「やめるんだったら、市長に全額返してほしい」。

一方、デザイナーの野田恵子さん(仮名)は「六月にはヒメボタルが舞う。道路は緑地を切り開いて造成され、西利さだけ求めている。一部はトンネル状になっている。緑地近くに住宅が密集する環境が壊される」と建設に反対。「住民の意向を調べるなら、賛成派だけでなく反対派の意見も紹介する機会を設けて」と訴える。

利便性と自然保護、そして既に使われた税金と、複雑な要素が絡み合う。河村市長は「高度な住民の判断を最終的な市の判断材料にする」としている。

### 満宮

交通安全  
●全格補修 ●厄払い  
●自動車検 ●安度折敷  
●初宮詣り ●七五三詣  
●地鎮祭 ●竣工式  
●各種お祈り ●出張祭  
年中 受付

相生山の道路工事再開？！  
中日新聞に投書して  
あなたの意思を知らせよう！

「発言」ホームページでも受け付け  
◇「発言」は郵送、ファクス、メールのほか本紙ホームページのニュース・企画特集コーナーからも投稿できます。字数は400字程度。添削することがあります。匿名は不可▽「写真」はキャビネ判まで。説明と撮影場所、年月日を明記。郵送のみ▽「時事川柳」「テーマ川柳」は3句まで。はがき、ファクス、メールで。  
◇郵便番号、住所、氏名、職業、年齢、電話番号を明記し〒460 8511 中日新聞読者センター「発言」係へ。ファクスは052(221)0819。メールはhatugen@chunichi.co.jpに。採用分(時事川柳、テーマ川柳は秀逸)に薄謝を贈ります。

◆他紙との二重投稿はお断りします。原稿の返却はしません。採否の問い合わせ、回答もお断りしています。

相生山緑地の市道、地元以外の意見も市長に市民団体系要望

ヒメボタルの有数の生息地、相生山緑地(天白区)を横断する形で計画されている市道、弥富相生山線について、市民グループ、相生山の四季を歩く会(古川善嗣事務局代表)は十六日、河村たかし市長に対し、工事再開するかどうかを決める際、地元四学区以外の意見も聞くよう求める要望書を提出した。

相生山に親しんでいる歩く会には地元以外の参加者も多い。要望書では「私たちの意見もお届けしたい。市民の声、市民の願いを大切にしてくださる市長の判断を私たちは尊重する」としている。

歩く会は月一回、相生山を散策する催しを開いている。これまでに四十五回行い、延べ千二百十三人が参加した。市長は高坂、相生、野並、山根の四学区を対象にした投票やアンケートを実施し、結果に従って来年一月末までに再開か否かを決める意向を示している。

ラプリーアース  
Japan 事務局  
052-821-6463